

第11回 地域活動事例発表会 発表要旨

	発表者/発表順	発表テーマ、発表要旨
1	寺田仁一郎 37期(園芸) 中部支部	<p>「里山を楽しむ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年(2015)9月から「L37里山クラブ」(37期園芸学科の22名)のメンバーで、棚田に植えられた杉と桧を伐採し、ログハウスを造っています。 ・「チーム楽里」は平成28年(2016)1月から、里山の間伐材を使って机やイスを作っています。メンバーは37期園芸学科の8名 ・「相谷里山会」は村の仲間(現在17名)とともに、村の周辺の放置された樹木の伐採や草刈り、子供相手のイベント(山のさもり体験、川遊び)を行っています。
2	林 弘貴 33期(陶芸) 甲賀・湖南支部	<p>「地域の小学生の見守り活動」</p> <p>「小学生の登下校時の見守り隊活動」 三雲小学校の生徒の登下校時に通学路(中央区～平松区～針区)の各交差点で、通学の安全確保のための見守りと指導。</p> <p>「春祭り・子供フェアへ支援活動」 5月5日子供の日に開催される、中央自治会主催の子供フェアのお神輿巡行の支援活動を行う。</p> <p>「夏休みラジオ体操に参加」 地域の森北公園で毎年実施される、三雲小学校の「夏休み・早朝ラジオ体操」に参加。</p>
3	白井興士則 (他4名) 36期(園芸) 高島支部	<p>「社協:やすらぎ荘の植栽剪定」</p> <p>私たちは今は元気に生活しています。60歳を過ぎてからレイカディア大学で2年間学び卒業後は各地での学童支援・介護支援・高齢者の見守り・環境美化・花づくり等の地域活動でそれぞれ活躍されていますが…明日のことは誰も分かりません。「災害時の福祉」「子供の福祉」「障害者の福祉」「高齢者の福祉」等地域の人々が住み慣れた町で安心して生活することの出来る「福祉のまちづくり」の実現を目指して頑張っておられる社会福祉協議会の活動方針と我々レイカディア大学同窓会の進むべき道は同じである。という観点から、お友達感覚で社協建物に付属する植栽の剪定作業をすることになりました。</p>
4	山上和美 31期(地域文化) 草津・栗東支部	<p>「ふるさと玉川《民具を照らす会》」</p> <p>民具は先人たちが歴史の中で生活の必要性から制作し、使用してきた伝統的な器具・造形物であり、文化的遺産です。その貴重な財産がふるさと玉川小学校や地域の古民家にあることを知り、これらの民具を整理・収集し、データベース化しました。その一環で高齢者から昔の暮らしや風景・風土を聞くことができました。先人の知恵と工夫を後世に伝えるため「民俗かるた」をつくり、そのかるたを通じて、高齢者には記憶を思い出してもらい認知症の予防に役立てると共に子供達に民具の機能や使い方を知ってもらい次世代への継承に繋がればと活動しています。</p>
5	辻 純男 柳生佳良子 30期(園芸) 34期(健レク) 近江八幡支部	<p>「近江八幡観光ボランティアガイドの活動紹介」</p> <p>近江八幡を訪れる観光客に、ふるさとの自然風土や歴史文化等を、会員自らの郷土愛とボランティア精神をもって案内と説明を行い、ふるさとへの理解、愛着を深めてもらうことを目的として平成4年に、レイ大の大先輩の佐々木さんが設立されました。自然の恵みや先人たちが創り出した文化、それらを受け継ぎ今を生きる人々の営みが一つとなって響きあう、風情輝くまちです。住んでよかったまち、訪ねてよかったまち、もう一度訪れたいまちを楽しく案内しております。</p>
6	但馬貞夫 34期(地域文化) 守山・野洲支部	<p>「野洲市在住外国人への日本語指導ボランティア」</p> <p>今年で設立25周年を迎える「野洲市国際協会」は地域住民への国際理解の啓発と普及、外国人への支援事業地域における国際交流の推進、海外交流使節団の派遣及び受入、さらに協会ニュースの発行と情報の収集・提供などの活動を行っています。その中で外国人への日本語指導ボランティアがあり、約50人の指導者のうち1割の人がレイカディア大学の卒業生で現在も指導者として活動しており、その活動の一端と「野洲市国際協会」全体の活動事例を紹介します。</p>
7	立脇 雅子 37期(園芸) 湖東支部	<p>「彦根の雨壺山整備活動」</p> <p>彦根雨壺山護林会は、2004年に設立され、会員数は30数名、主に雨壺山北西部の丘陵地整備を行っています市街地に囲まれたこの山は、千鳥ヶ丘公園として市民に開放されています。会の活動は、毎月第1、第3土曜日午前9時から11時まで2時間、里山を復元し市民の憩いの場となるよう、竹林の整備、桜の植樹、ツツジや椿の剪定作業などです。都合の良い日に参加し、短い時間ですが汗を流しています。</p>
8	岩脇俊雄 30期(園芸) 湖北支部	<p>「みどりの会」の活動紹介</p> <p>みどりの会は、米原市のレイ大園芸学科卒のメンバーで構成され、現在16名の会員で活動しています。主な活動場所は、近江地区の福祉施設(やすらぎハウス)周辺の除草、樹木の整枝、剪定を中心に1回/月のペースで、4～12月の間、年間10回の活動です。みどりの会の歴史は古く、平成11年に発足し、今年で設立20周年にあたります。近年はレイ大1年生の地域活動体験学習のボランティア活動の受け皿として、多くの米原市在住の園芸学科の1年生の方に、体験学習をしていただいています。また、昨年度は2年生の課題学習の為の場所の提供や活動のお手伝いなどをさせていただいています。このように、レイ大在学中から、地域の卒業生との太いパイプがあり、レイ大卒業後は、ほとんどの方が「みどりの会」に入会していただいています。これらの活動の様子を発表させていただきます。</p>
9	藤田順一 37期(園芸) 大津支部	<p>「比叡地域の小学校・児童クラブ支援活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大津支部は瀬田・石山・中央・比叡の4地域に副支部長を選出して活動をしている。 ・比叡地域の小学校支援活動には、剪定活動、図書整理活動、花壇活動、パソコンアシスタント活動、校外学習引率、そして児童クラブ支援活動を行っている。 ・比叡地域の小学校・児童クラブ支援活動の進め方と事例を紹介発表する。